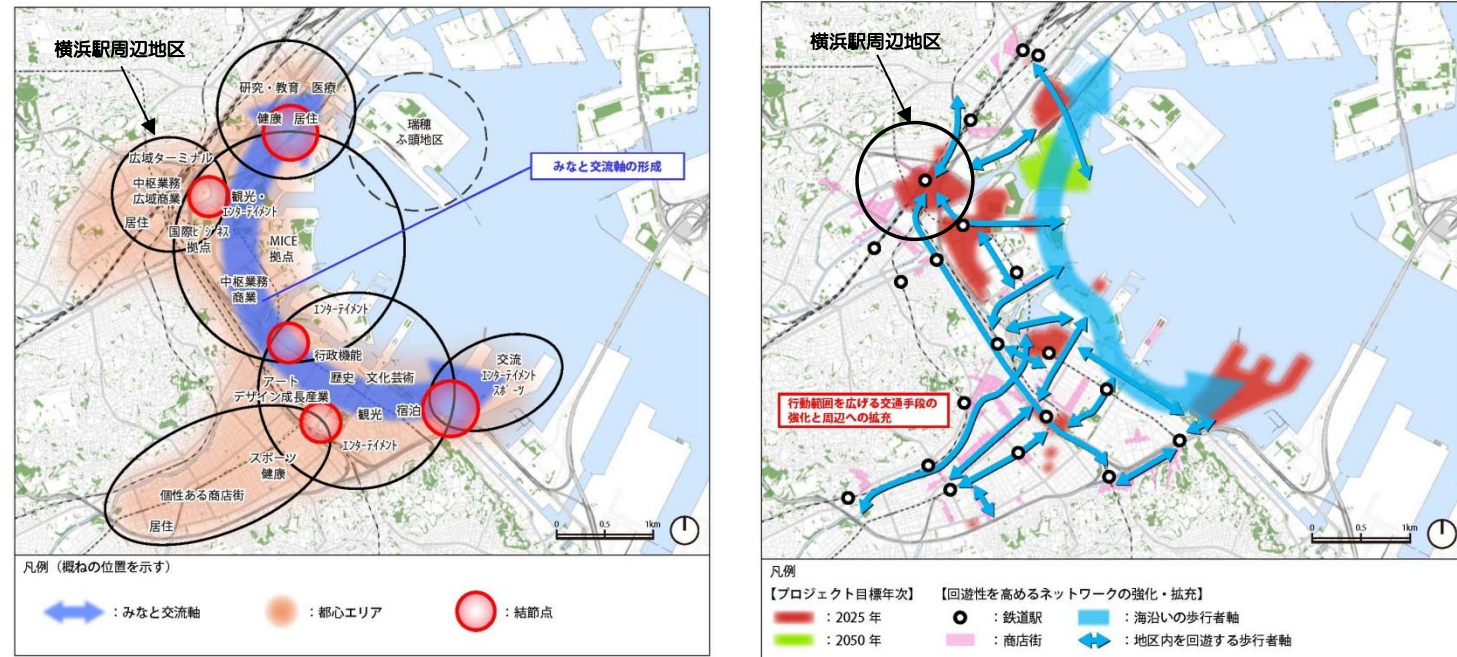


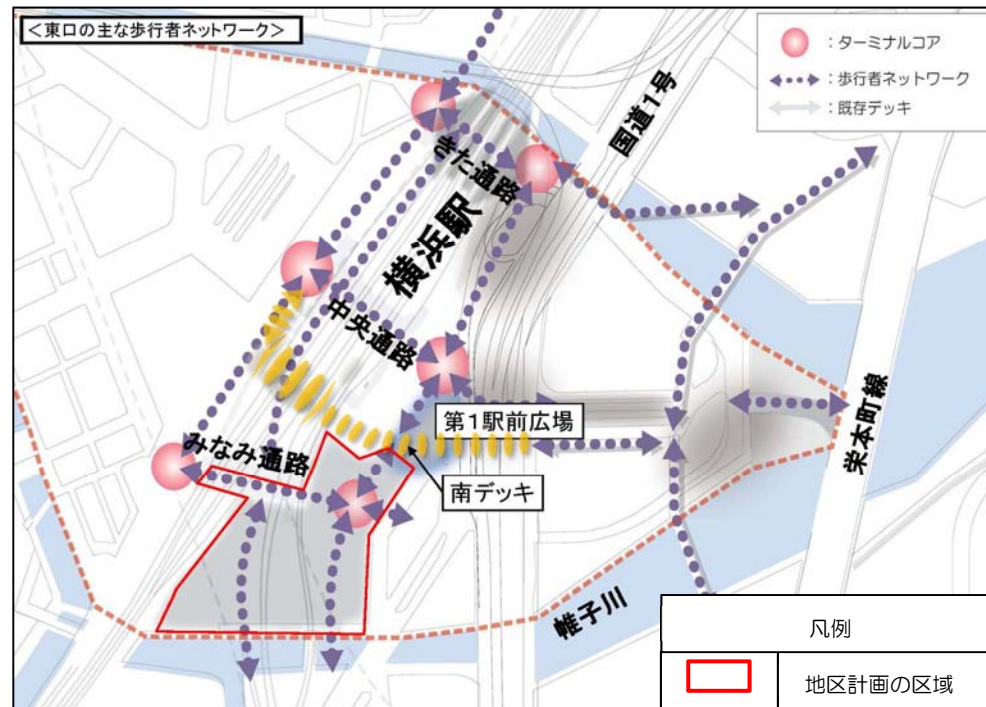
## (1) 横浜市都心臨海部再生マスタープラン【抜粋】

将来の社会状況の変化に対応し、将来にわたり輝き続け、魅力にあふれた“世界都市”の顔としての都心臨海部（下左図の円部）を形成するための将来構想（目標年次 2050年）として、平成27年2月に策定しました。



## (2) エキサイトよこはま22（横浜駅周辺大改造計画）

国際化への対応・環境問題・駅としての魅力向上・災害時の安全性確保などの課題を解消し、「国際都市の玄関口としてふさわしいまちづくり」を進めるための指針となる計画です。おおむね20年後のあるべき姿を探りながら、鉄道事業者、地元協議会、学識経験者などと行政が連携・協働し、平成21年12月に策定しました。



※第7回エキサイトよこはま22懇談会資料を基に作成

## 【お問合せ先】

- 横浜市都市整備局都心再生課（地区計画の内容について）  
〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地 市庁舎6階 TEL 045-671-4051
- 横浜市建築局都市計画課（都市計画手続について）  
〒231-0012 横浜市中区相生町3丁目56番地の1 JNビル14階 TEL 045-671-2657  
都市計画課ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/kikaku/cityplan/>



## 横浜市からのお知らせ



## 都市計画市素案説明会のお知らせ

エキサイトよこはま22横浜駅みなみ東口地区地区計画の都市計画決定について

横浜駅周辺地区では、平成21年に民間と行政の協働により、国際都市の玄関口としてふさわしいまちづくりを進めるため、エキサイトよこはま22を策定しました。また、平成18年に横浜市と複数の事業者による横浜駅東口開発推進協議会が発足され、本地区を含む横浜駅東口地区におけるまちづくりの検討が進められてきました。

このたび、エキサイトよこはま22等の方針を踏まえた歩行者ネットワークを地区計画に位置付けることで都心臨海部内各地区との連携強化を図るとともに、本地区内で計画される民間開発事業を適切に誘導するため、地区計画を決定することとし、都市計画市素案を作成しました。

つきましては、都市計画市素案の内容や今後の手続について説明するため、説明会を開催します。

## 都市計画市素案説明会

- 日時  
平成29年1月23日(月)  
午後7時開始(開場：午後6時45分)
- 会場  
西公会堂 講堂(西区岡野1-6-41)  
JR横浜駅 徒歩10分  
※申込不要です。当日、直接会場へお越しください。  
※駐車場の用意はありません。公共交通機関をご利用ください。



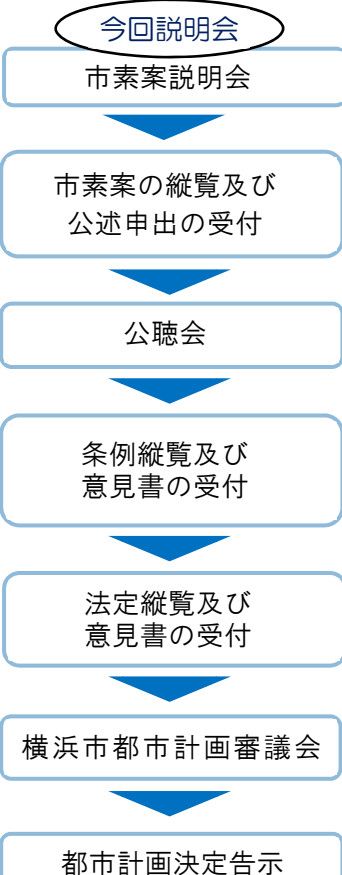
## 都市計画市素案の縦覧(閲覧)及び公述申出の受付

- 縦覧(閲覧)期間  
平成29年1月25日(水)から平成29年2月8日(水)まで ※土・日は除く
- 縦覧(閲覧)場所  
建築局都市計画課(受付時間 午前8時45分から午後5時15分まで)  
※西区役所区政推進課で都市計画市素案の写しを閲覧できます。  
(受付時間 午前8時45分から午後5時まで)  
※都市計画課ホームページで都市計画市素案の概要をご覧になれます。
- 公述申出  
関係住民及び利害関係人は公述申出ができます。  
公述申出書は、平成29年2月8日(水)必着で都市計画課へ郵送又は持参してください。また、都市計画課ホームページから電子申請による公述申出ができます。  
※公述申出書は、縦覧(閲覧)場所で配布しているほか、都市計画課ホームページからダウンロードできます。  
※10名を超える申出があった場合には、抽選を行います。

## 公聴会（公述申出があった場合に開催）

- 日時 平成29年3月10日(金) 午後7時開始(開場：午後6時45分)
- 会場 西公会堂 1号会議室(西区岡野1-6-41)  
※傍聴は申込不要です。当日、直接会場へお越しください。  
※公聴会開催の有無は、2月10日(金)以降に都市計画課ホームページでご確認いただくか、電話で都市計画課にお問合せください。

## 都市計画手続の流れ



※本資料は一部簡略化(省略化)しています。  
 正確な内容、区域等については、縦覧(閲覧)期間中に縦覧(閲覧)場所でご確認ください。

# 1 エキサイトよこはま22横浜駅みなみ東口地区地区計画(市素案の概要)

※地区計画とは地区の特性に応じて、建築物の用途、建ぺい率、容積率、高さ等の建築物等に関する事項や、道路、広場等の地区施設について、きめ細かく定める地区レベルの都市計画です。今回は歩行者ネットワークに関する地区施設について定めます。なお、建築物等に関する事項等については、今後、民間開発事業の具体化にあわせて、地区計画を変更していく予定です。

名称	エキサイトよこはま22横浜駅みなみ東口地区地区計画		
位置	西区高島二丁目地内	面積	約2.5ha

**地区計画の目標**

本地区は、横浜駅南東側に位置し、帷子川に面している。また、帷子川を挟んで、みなとみらい21地区及び平沼地区と隣接している。

本地区内は商業・業務施設や倉庫、鉄道施設等が立地しているものの、鉄道により地区が分断され、低・未利用地が多く、駅直近の立地特性を生かした土地利用がなされていない状況である。さらに、隣接するみなとみらい21地区及び平沼地区とのアクセス性や地区内の回遊性に課題がある。

横浜駅周辺を対象として、平成21年に民間と行政の協働により、エキサイトよこはま22が策定され、まちの将来像として世界から人々をいざなう「選ばれるまち」、心地よく、心に残る場面にあふれた「魅了するまち」、まちに関わるすべての人が「誇りに思うまち」、を掲げている。これらの将来像に基づき、横浜駅東西を一体的かつ円滑に移動・回遊できる立体的な歩行者ネットワークの構築、国際拠点の玄関口として横浜駅東口の空港アクセス機能を強化する駅前広場の再編、横浜駅周辺地区内の交通を円滑にするための骨格となる道路の整備及び横浜駅周辺にふさわしい治水安全度を確保するための河川、下水道、まちづくりが連携した浸水対策の実施などを、民間開発事業にあわせて順次進めている。

本地区計画は、これらを踏まえ、本地区内で計画される民間開発事業を適切に誘導し、都心臨海部内各地区との連携強化及び横浜駅周辺の回遊性の向上を図るとともに、国内外の多様なニーズに対応した、都心にふさわしい高度な商業・業務機能等の集積を図ることにより、国際都市横浜の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある都市空間を形成することを目標とする。

**土地利用の方針**

- 1 国際都市横浜の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある都市空間を形成するために、土地の高度利用を図り、国内外の多様なニーズに対応した商業・業務機能等を集積する。
- 2 ターミナルコアを中心としたデッキ、地上、地下レベルで構成される立体的な歩行者ネットワークの構築を図り、横浜駅周辺における円滑な移動・回遊性の向上に寄与する。
- 3 河川、下水道、まちづくりが連携した浸水対策を実施し、安全・安心な空間を創出する。

**地区施設の整備の方針**

みなとみらい21地区等の都心臨海部内の連携強化を図りつつ、商業・業務機能等が高度に集積する横浜駅周辺の回遊性を確保し、ターミナルコアを中心とした利便性の高い立体的な歩行者ネットワークを構築する。

- 1 歩行者ネットワークの結節点として、吹抜けにより各層からの視認性に配慮した連続的な空間を形成し、来街者等のガイドとして機能するターミナルコアを整備する。また、各層においてにぎわいを創出する空間を、吹抜けを囲むように整備する。
- 2 横浜駅の東西を横断できるルートとして、横浜駅東口の地下街と直結する歩行者用通路A、ターミナルコア、歩行者用通路B及び歩行者用通路Cを連続的に整備し、JR南改札へとつなげる。
- 3 横浜駅周辺地区とみなとみらい21地区をつなぐ歩行者動線として、帷子川横断デッキとターミナルコアをつなぐ位置に歩行者用通路Dを整備し、建築計画と連携して、重層的でにぎわいのある回遊動線を形成する。
- 4 横浜駅周辺地区と平沼地区をつなぐ歩行者動線として、平沼地区から整備が進んでいる東横線跡地事業の一部として歩行者用通路Eを整備し、歩行者用通路Bと連続させてターミナルコアとつなぐ。
- 5 本地区内の回遊性を高めるため、ターミナルコアを中心に地区内を一巡できるルートとして、歩行者用通路D、道路、歩行者用通路E及び歩行者用通路Bを整備する。

